

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2001-54076 (P2001-54076A)

【公開日】平成 13 年 2 月 23 日 (2001.2.23)

【出願番号】特願 平 11-230450

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/025 (2006.01)

H 0 4 N 7/03 (2006.01)

H 0 4 N 7/035 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/445 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/08 A

G 0 6 F 3/00 6 5 3 A

G 0 6 F 3/00 6 5 4 B

G 0 6 F 3/00 6 5 4 D

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

H 0 4 N 5/445 Z

G 0 9 G 5/00 5 5 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 28 日 (2006.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】 請求項 1 記載の番組情報表示装置の、番組の属性を有する番組情報を受信する番組情報受信手段、

前記受信した番組情報を記憶する番組情報記憶手段、

前記番組の所定の属性を指定する選択手段、

前記指定された属性を利用して、前記番組情報記憶手段が記憶している番組情報を表示する番組情報表示手段、としてコンピュータを機能させるプログラムを記録したプログラム記録媒体であって、コンピュータにより処理可能なプログラム記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

番組情報入力手段 3 0 1 は、放送波を受信し、番組情報を分離する。番組情報記憶手段 3 0 2 は、分離された番組情報を記憶する。次に表示選択手段 3 0 3 は、番組情報記憶手段 3 0 2 に記憶されている番組情報を読み取り、利用者からの指示により表示すべき番組情報を選択し、利用者からの指示により番組情報の表示方法を選択し、番組情報を編集する。すなわち、番組表を表示するように選択したり、選択した番組の番組情報を表示するように選択したりする。ここで、番組表とは、横軸にチャンネルをとり縦軸に時刻をとり、横軸と縦軸の交わり部分に番組名などを記載した番組の一覧表である。また、映画、音

楽、スポーツなどのジャンルや、または利用者が設定した視聴、録画予約情報などを表示するよう選択したりする。このように表示選択手段 3 0 3 によって選択された表示方法に応じて、表示手段 3 0 4 は、多くの番組情報の中から利用者に一目で見分けられるような色分けと予約の状況がイメージできるアイコンを使って表示する機能を実現できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

さらに、識別手段 1 0 3 は、音声認識を行う際に話者特定を行うことが出来る。話者が特定されると、識別手段 1 0 3 は、特定された話者の契約情報を表示選択手段 1 0 4 に出力する。表示選択手段 1 0 4 は、送られてきた契約情報によって、契約していないので視聴できない番組の番組情報を表示しないような表示用データを作成する。そして、表示手段 1 0 5 は、その表示用データを表示する。